

令和5年度事業報告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	5. 4. 26	ハム・ソーセージ 会 館	監事 3名	・令和4年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 3名	・令和4年度事業報告(案)及び収支決算(案)について ・第20回定時社員総会提出議案について(案) ・定款改正の件(案) ・役員候補について(案)
理 事 会	5. 5. 25	沖縄県那覇市 「沖縄ハーバー ビューホテル」	理事 14名 監事 4名	・厚生労働省登録検査機関における業務責任者の変更について ・委員会委員の委嘱について
第20回定時 社員総会	同 上	同 上	71名 (委任状による 出席49名を含む)	①令和4年度事業報告の件 ②令和4年度決算報告書承認の件 ③定款改正の件 ④令和5年度事業計画報告の件 ⑤令和5年度収支予算報告の件 ⑥入社基準決定の件 ⑦令和5年度会費及び徴収方法決定の件 ⑧令和5年度加入金決定の件 ⑨令和5年度借入金最高限度決定の件 ⑩常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑪理事の一部退任に伴う理事及び監事の補選の件 ⑫常勤理事に対する退職手当の件
役付役員互選 理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 4名	・役付役員互選について
理 事 会	5. 9. 27	東京都千代田区 「東京會舘」	理事 14名 監事 3名	・経理状況報告について
理 事 会	6. 1. 30	東京都目黒区 「ホテル 雅叙園東京」	理事 17名 監事 4名	・社員の加入について
理 事 会	6. 3. 27	ハム・ソーセージ 会 館	理事 16名 監事 4名	・令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ・給与規程等の見直しについて

J A S 認 証 業 務 評 価 委 員 会	6. 3. 12	ハム・ソーセージ 会 館	委員 4名	・ 本研究所の審査、認証及び意思決定プロセスの公平性について ・ 公平性のリスク分析の結果に対する評価
登録検査機関検査 業務評価委員会	同 上	同 上	同 上	・ 厚生労働省登録検査機関に係る業務の信頼性確保について
ISO/IEC17025 認定試験所検査 業務評価委員会	同 上	同 上	同 上	・ ISO/IEC17025認定試験所の検査業務について

2. 事業に関する事項

(1) 令和5年5月30日、沖縄県那覇市「沖縄ハーバービューホテル」で開催の第20回定時社員総会で、理事4名の辞任に伴う理事及び監事の補選が行われた結果、次の者が選任された。

(※敬称略)

理 事：石原哲雄、小原健児、木藤哲大、小林博行、松井陽樹

監 事：塩島 勉

次に役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長が選任された。

理事長：小原健児

(2) 令和5年7月11日、役員の変更登記を完了した。

(3) 令和5年11月28日、29日に、ペリージョンソンラボラトリーアクレディテーションインク(PJLA)によるISO17025の更新審査を受けた。不適合はなく、認定の継続が確認された。

(4) 令和5年12月19日、20日に、(独法)農林水産消費安全技術センター(FAMIC)によるJAS法に基づくJAS登録認証機関としての事業所調査及び製品検査施設調査を受けた。不適合は無く、登録認証機関としての体制が維持、運用されていると判定された。

(5) 厚生労働省登録検査機関の登録の有効期限(5年間)が令和6年4月18日であることから、令和6年1月10日に厚生労働省関東信越厚生局による立入調査が行われた結果、令和6年2月13日付で令和6年(2029年)4月18日までの登録更新が認可された。

(6) JRA事業「豚肉の賞味期限延長・おいしさ向上評価推進事業」(令和5～7年度)に基づき、包装方法の違いによる豚肉の賞味期限の延長幅について理化学分析、物理的性状分析、細菌検査、官能検査等を実施するとともに、推進委員会を令和5年6月、令和6年3月の計2回開催した。

(7) 食品衛生管理者(食肉製品製造業)の登録講習会について、(公財)日本食品衛生協会から依頼を受け、7月及び9月に食肉製品検査講習及び実習を行った。

(8) 前年度に引き続き日本ハム・ソーセージ工業協同組合と業務委託契約を結び、「海外食肉加工品品質評価等事業」(栄養成分、物性検査、官能検査等)を行った。

(9) (公社)日本食肉協議会の助成を受け「非加熱食肉製品賞味期間延長支援事業」を実施した。

(10) 検査の適切性を確認したい検査施設を対象に、「精度管理のための技能評価試験」を6月と11月の2回実施し、9月に試験検査担当者を対象とした「検査技術実技研修会」を開催した。

(11) 令和6年3月5日～8日の4日間、東京ビッグサイトで開催された「2024 食肉産業展」に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同で出展し、JAS制度、“おいしさ評価”検査、栄養成分検査及び保存試験などの業務を紹介した。

- (12) 令和5年10月26日～27日に(一社)日本食肉加工協会及びハム・ソーセージ類公正取引協議会と協力し、「食肉製品の規格と表示に関する研修会」を開催した。
- (13) (公財)伊藤記念財団の研究助成により、「ソーセージの塩漬フレーバー増強へのヒポキサンチンの関与についての研究」に取り組んだ。
- (14) 5年ごとに行われるベーコン類等及び熟成ハム類等のJAS見直しの検討会議(PT会議)に委員として出席し、JAS見直しの要望の取りまとめに協力した。
- (15) (一社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」に協力した。
- (16) (一社)日本食肉加工協会主催の「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)」及び「食肉、食肉製品の基礎セミナー」に協力した。

3. 社員に関する事項(令和6年3月31日現在)

期 別	社 員 種 類					
	正社員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	総 計
前期末現在	79	2	0	0	2	83
今期入社	2	0	0	0	0	2
今期退社	1	0	0	0	0	1
今期末現在	80	2	0	0	2	84

- (注) 正社員：(一社)日本食肉加工協会及びその会員
 正社員甲：食肉製品製造を事業とする者
 正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者
 正社員丙：食肉加工を事業とする者
 賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

4. 事業の概要

(1) J A Sに関する業務

ア) 令和5年度におけるJ A S格付状況

区 分	格付数量	対前年度比
ベーコン類、ハム類、プレスハム及びソーセージ	132,308トン	0.9%減
熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類	22,584トン	5.7%減
ハンバーガーパティ	7,776トン	81.4%減
チルドハンバーグステーキ	1,480トン	8.0%増
チルドミートボール	4.2トン	10.5%増
大豆ミート食品類	151トン	—

イ) J A S 認証工場数 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

期 別	農林物資 ベーコン類等	熟成 ハム類等	ハンバーガー パティ	チルドハンバーグ ステーキ	チルドミート ボール	大豆ミート 食品類	合 計
令和 4 年度末	79*	50*	3	4*	1*	0	137
認 証	6	4	0	0	0	2	12
辞 退	4	5	2	0	0	0	11
令和 5 年度末	81*	49*	1	4*	1*	2	138

* : 外国製造業者1を含む。

ウ) J A S 認証工場は、令和 5 年度定期確認調査においてすべて適正であった。一部の工場については、リモートによる調査を実施した。また、当研究所が行う J A S 認証工場定期確認調査の現場にFAMICが立ち会う調査は、延べ2工場について実施され、不適合はなかった。

エ) J A S 証票を印刷できる登録印刷工場は、ベーコン類等104工場、熟成ハム類等76工場、ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール27工場、大豆ミート食品類4工場となった。

オ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	令和5.7.14	オンライン講習会	41名
品質管理責任者等専門講習会	令和6.2.2~3	イベントスペースEBiS303	59名
格付検査担当者技能研修会	令和5.6.22	ハム・ソーセージ会館	9名

(2) 一般依頼検査等に関する業務

ア) 令和 5 年度に実施した一般依頼検査、輸入食品検査の件数は下記の通りであった。

区 分	一般依頼検査		輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査		
件 数	10,224件	7,287件	7,890件	25,401件

各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

附 属 明 細 書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。